

一般質問(4)

少子高齢化社会を見据えた
まちづくりを!

大林 光昭(公明)

質問 図書館・公民館の役割を問う。

答弁 地域住民にとって最も身近な学習拠点として重要な役割を担う施設である。

意見 地域の配置バランスを考慮して、利便性向上へ課題を検証、解決すべき。

質問 高齢者が民間賃貸住宅に引越す際、高齢を理由に入居を断られるケースがある。市の考えを問う。

答弁 民間の家賃保証サービスを行う事業者等と協力し、仕組みを構築していく。

質問 子育ての情報提供や助言がより身近な場所で行われるように見直すべき。

答弁 庁内で検討していく。スマートフォンを活用

用して時間や場所にとらわれず気軽に情報取得できる。子育て世帯が市内店舗特典を受けられる等、子育て支援を幅広く検討すべき。

質問 東京オリンピック・パラリンピックに向け、市内の選手、チームを積極的に応援すべき。

答弁 応援や周知のための取り組みを検討していく。

意見 文化芸術で活躍する方も積極的に応援すべき。

質問 飼いのいない猫が地域の課題となっている。

答弁 そうした猫の不妊去勢手術費助成を行っているが、課題等を検証して制度の有効性を検討していく。

PFI等低コストで公共施設を
建設するための専門部署の設置を

佐藤 公男(公明)

質問 PFI等の民間活力により低コストで公共施設を建設するためには専門部署が必要では。

答弁 重要であると認識しているため検討する。

質問 はなバス停留所を西原町に!

質問 平成28年に新設されるはなバス第4北ルート



市内を巡回する「はなバス」

新青梅街道に停留所を設置することにより、西原町の空白地域解消になるのでは。

答弁 新青梅街道北側居住者の利便性に配慮し、バス停の設置位置の調整を図る。

質問 コンビニでの各種発行を!

質問 平成28年度にスタートするマイナンバーを活用したコンビニでの発行業務を住民票や課税証明書等、全て発行できるように求める。

答弁 平成28年12月をめどに住民票、印鑑証明、戸籍

証明、住民税課税証明の交付を目指し準備する。

避難所となる学校にマンホールトイレの設置を!

質問 国土交通省が災害時のマンホールトイレ設置のガイドラインを発表した。

現在建て替え協議中のひばりが丘や中原小をはじめ、順次マンホールトイレの設置を進めるよう求める。

答弁 ひばりが丘中について実施設計に反映させる被災者支援システムの導入を

意見 マイナンバーを活用し、災害時に必要なシステムの早期導入を求める。

今こそ市長のリーダーシップを!
交通不便地域を解消せよ!

小幡 勝己(公明)

質問 市財政の状況を問う。

答弁 経常収支比率が4年連続で上昇しており、新たな視点や柔軟な発想で予算編成に取り組むことが必要。

質問 公共施設等総合管理計画案において、施設の延べ床面積の削減目標値を10%とした理由は。

答弁 市民への取り組みの進捗状況がわかりやすい。

質問 泉小学校跡地を暫定利用せよ。方針を問う。

答弁 27年度中に決定する。

質問 文部科学省が定める図書館の基準に基づく中央図書館の実態は。

答弁 書架間隔はさまざま。利用者に対応した配置となっている。また、スペースの制約はあるが、ボランティアの協力を得ながら事業を実施している。

質問 がん検診の無料実施による課題を問う。

答弁 精密検査の受診率や

市民合意と将来ビジョンなき
3館合築複合化は即刻見直しを!

納田 さおり(無所属)

質問 3館合築複合化について

質問 市民合意が得られていない現状を無視するがごとく、懇談会の意見を待って結論を出すと言う。本来なら再考のプロセスを示すべきではないのか。

答弁 3館合築複合化の基本プランは引き続き懇談会において検討を進める。

質問 田無駅南口のまちづくりにとって、地域資源は何であると考えられるのか。

答弁 第2次総合計画等で示した地域の将来像の実現に向けて検討を進める。

質問 産後ケアの推進について

質問 産後間もない虐待死が後を絶たない。育児不安を抱える母親を武蔵野大学

看護学部の産後ケアセンターや地域のNPO等の事業へのマッチングを行うべき。

答弁 こんにちは赤ちゃん事業の訪問率は9割を超えており、産後うつ評価などを行っている。育児不安を抱える場合は市内の育児支援グループへの参加を促す。

質問 図書館・公民館の機能強化

質問 図書館・公民館は市民自治の歴史が刻まれた重要な施設である。地域人材育成機関として機能強化こそ必要だ。

答弁 図書館と公民館は集約と分散の視点から適切な配置数のイメージを示し、選択と集中を実現すべく適正配置・有効活用を進める。

はなバスの見直しベンチ設置を!
市役所窓口の民間委託について!

坂井 かずひこ(民主改)

質問 本市の公園でのドローン使用、活用予定について問う。

市長 公園におけるドローンなどの無人機等の持ち込み操縦、飛行については、多摩北部都市広域行政圏協議会緑化専門委員会が担当事務が情報交換を行い協議・検討したが、市立公園の管理上支障があると認められるため、小型無人機ドローンはラジコン飛行機やラジコンヘリなどと同様に使用を禁止している。

質問 はなバスは特に高齢者が利用する。バス停にベンチ設置を要望する。また民間バス事業者にも設置の働きかけはできないか。

市長 はなバスは特に高齢者が利用する。バス停にベンチ設置を要望する。また民間バス事業者にも設置の働きかけはできないか。

市長 交通計画の基本方針で「バス交通の利便性の向上」を掲げ、バス停の環境整備の中で、ベンチの必要性についても示している。

田無駅北口のはなバス停留所へのベンチ設置については、歩行者などの円滑な通行への影響等の課題を整理するとともに、民間路線バスの取り組み等も参考にしながら利用者の利便性の向上に向け、バス事業者等と協議検討を進めている。

質問 市役所窓口の民間委託の考え方を問う。

市長 マイナンバー制度の開始に伴う窓口業務への影響について十分検証する必要がある。

ボランティアポイント制度開始!
東伏見小、通学路の安全対策を!

藤田 美智子(公明)

質問 介護支援ボランティアポイント制度は、公明党が選挙公約に掲げ、必要

性・有効性を繰り返し示してきた。制度設計の進捗状況、目的、実施時期は。

市長 平成28年4月から実施する。高齢者の方が今まで培ってきた知識、技術を生かし、ボランティア活動に

取り組むことで介護予防にもつながる効果が期待される。多くの高齢者が生きがいを持ち、地域社会の担い手として役割を果たすことのできる、社会参加を



介護の日のイベントで紹介された「介護予防体操」

介護の日のイベントで紹介された「介護予防体操」

介護の日のイベントで紹介された「介護予防体操」



介護の日のイベントで紹介された「介護予防体操」